

ニュースター News Letter

サポセン

SAPOSEN

ふくしま地域活動団体サポートセンター

2018

CONTENTS

- P2 平成30年度 第1回 地域活動団体中間支援センター情報交換会 開催報告
- P3 NPOのマナビバ
- P4 NPO会計相談・NPOと企業等のマッチング事業
- P5 チャレンジインターンシップ開講式
- P6 Pick up NPO
 - ・特定非営利活動法人 あだたら高原なると
 - ・特定非営利活動法人 未来ノチカラ
- P8 貸借対照表の公告について・助成金情報



平成30年度のサポセン3つの事業を紹介します

平成30年度 第1弾のニュースターでは、今年度のサポセンの主な事業を紹介します。今年度から始まりました「NPO会計相談」と2年目となる「NPOと企業等のマッチング事業」の進捗状況については4ページ目で紹介しています。

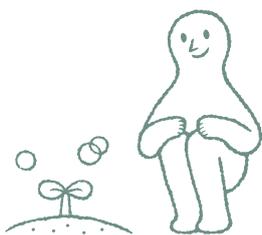
NPO強化による復興創生事業「NPO運営力強化支援事業」

基礎力・応用力を身に付けるためにわかりやすく丁寧な講座を開催することで、今年度もNPO団体の運営力強化を目指していきます。労務、広報、マネジメントなど定番のものから、昨今求められる事業や活動について「社会的価値の見える化をする」ための社会的インパクト評価の講座も開催予定です。地域課題の解決に向け多様な主体とのネットワーク形成にも力を入れ、橋渡しを行っていきます。(https://f-saposen.jp/)



NPO強化による復興創生事業「チャレンジインターンシップ事業」

「若者の学び・体験支援」をテーマとして、高校生・大学生・専門学校生が福島県内のNPO法人で夏休み期間の1週間～10日程度インターン活動を行い、福島県の復興・創生に若者が参加することを応援します。また、受入NPO法人においても、若い人材による活動の活発化など新たな活動の展開へつながっていくことを目指しています。4年目となる今年度の事業も学生と受入NPO法人双方にとって有意義な活動となることを期待しています。(https://f-intern.f-saposen.jp/)



平成30年度

「NPO、企業、学生との連携・協力事業」および「ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告交流会」

「NPOと企業等のマッチング事業」

2年目となるこの事業はNPOと企業との協働・連携を図ることを目的としています。社会課題解決に向けて地域活動を行うNPOと社会貢献活動を行っている、または行いたい企業を事前調査し、より良い連携が図れるようにマッチング・サポートいたします。今年度もマッチングのための2つのNPO事前講座を経て11月にNPOと企業とのマッチング会を開催予定です。(https://fnpo-matching.f-saposen.jp/)



地域活動団体 中間支援センター 情報交換会 開催報告



6月14日(木)に郡山市
ミュージカルがくと館にて
第1回地域活動団体中間支援
センター情報交換会が
開催されました。

於：郡山市ミュージカルがくと館 大ホール(2018年6月14日)

参加者：中間支援センター職員 12団体 17名、
中間支援委託・権限移譲市町担当者 6市町 6名
田村市、NPO法人 等 総勢 32名



↑参加者同士の交流も
活発に行われました

第1部 近況報告、「福島県NPOのつどい」振り返り、意見交換

第2部 「中間支援のネットワーク形成と資金調達」

講師：横田 能洋 氏(認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ代表理事)

第1部では、各センターの平成30年度の事業など近況報告をいただきました。

また、過去2回県内の多様な主体の方々にご参加いただきました「福島県NPOのつどい」の今年度の開催に向けてもさまざまなご意見をいただきました。内容に磨きをかけ、実践的で役立つ「福島県NPOのつどい」を行いたいと思っておりますので、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



第1回地域活動団体中間支援センター情報交換会全体の様子

今年度も情報交換の場としてあと2回程度情報交換の機会を設ける予定です。福島県内の更なるネットワーク強化に向けて、ふくしま地域活動団体サポートセンターでは情報交換・共有に力を入れていきます。



“中間支援のカタチ”はさまざまありました

第2部では、講師の横田さんより「中間支援のネットワーク形成と資金調達」をテーマに講演いただきました。自身が行っているネットワーク形成の方法や中間支援としての立ち位置について、資金調達のポイントなど自団体でもいかなる内容をわかりやすく丁寧にお話しいただきました。

NPOのマナビバ



今年度もNPO法人や
市民活動を行う皆さんに
役立つ講座を開催して
まいります。

ふくしま地域活動団体サポートセンターで今年度これから実施予定のNPO講座です。組織の育成やスタッフのスキルアップのためにぜひご参加ください。
詳細については、サポセンのウェブサイト(<https://f-saposen.jp/>)をご確認ください。

NPOのための イベント企画・運営セミナー

体系的な7つのSTEPでイベントの企画・運営の全体像を学ぶとともに、NPOの課題になりやすい「新たな仲間の巻き込み方」についても考える内容です。「良い場づくり・イベント企画」を通して、「多様な参加者・仲間」と出会い、「イキイキと継続的なコミュニティ」づくりにつなげましょう!

日時 8月31日(金) 14:00 ~ 16:00

会場 郡山市ミュージカルがくと館 大ホール

講師 五井 利明 氏(特定非営利活動法人 CRファクトリー 事業部長・理事)

SNS情報発信講座

～インスタグラムを使って活動をPRしよう～

初心者～中級者向け

SNSを利用することは自団体の活動や情報を広く多数の方に知っていただく機会になります。今回は近年利用者が増えているインスタグラムの使い方を中心に、その他のSNS媒体(Facebook、LINE@)などの基本を学びます。

日時 9月11日(火) 13:30 ~ 15:30

会場 会津美里町公民館

講師 久野 雅己 氏(株式会社 ソーシャルスピーカー 代表取締役)

【講座の内容(予定)】

- インスタグラムで何ができるの?
- #ハッシュタグって何?
- 個人アカウントと、ビジネスアカウント?
- フォロワーを増やすには?
- 最低限のマナー & セキュリティ
- SNSの注意点



助成金活用セミナー & 相談会

福島市市民活動サポートセンター主催の助成金活用講座実践編からの連続講座として開催します。助成元と助成を受けた団体のお話を聞き、助成金を獲得するためのポイントなどを講師の方に解説いただきます。

日時 9月22日(土) 13:30 ~ 16:30

会場 福島市市民活動サポートセンター

講師 渡辺 元 氏(公益財団法人 助成財団センター プログラムディレクター)





今年度から始めました「NPO会計相談」と
2年目となりました
「NPOと企業等のマッチング事業」の
進捗状況を紹介します

「NPO会計相談」では、 専門家の先生に直接・個別に相談できます！



会計相談は7月末現在11件の相談がありました。
内容については基本的なものから、団体が持つそれぞれの
内容のものまでさまざまな相談に専門家の先生にご対応
いただきました。

- 例) ・税金について(法人税、消費税、所得税等)
- ・受託事業の項目の仕分け方
- ・人件費について
- ・会計処理の方法について

相談時間は1回90分程度です。相談者のみなさんは真剣に自団体が抱える悩みを解決するため、相談を受けられています。相談には事前の申し込みが必要となり、相談日に調整が必要となります。お時間をいただきますので、会計に関する相談等ありましたら、すぐに当センターまでご連絡ください。お待ちしております。

【お問い合わせ】
TEL: 024-521-7333 / FAX: 024-523-2741
E-mail: kaikeisodan@f-saposen.jp

平成30年度 NPO強化による復興創生事業「NPO会計相談」

SAPOSEN NPO会計相談

「NPO会計・財務に関する相談」を下記の条件で無料で受け付けます。

申込対象 福島県内のNPO法人などの非営利活動団体
申込方法 書面の申込用紙に必要事項を記入の上、「ふくしま地域活動団体サポートセンター」までお申し込みください。
相談場所 ふくしま地域活動団体サポートセンター 事務室にて
〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自衛会館7階
相談費用 無料(相談のみ、会計書類の作成はいたしません)
受付期間 平成30年5月～平成31年2月まで随時

NPO × 専門家 =

申し込みにあたっての注意

- ① 相談時間は1回90分まで、者団体最大3回までとします。
- ② 的確な回答ができるように相談内容を事前に把握するため、申込書には出来る限り具体的な内容を記載書きください。
- ③ 申込書受付後、専門家とのスケジュール調整を行いますので2週間～1か月程度のお時間をいただきます。
- ④ 申し込み多数の場合は、事務局にて抽籤し、場合によってはお断りさせていただくこともあります。

主催 復興局
事務局 ふくしま地域活動団体サポートセンター
〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自衛会館7階
TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741
E-mail kaikeisodan@f-saposen.jp URL https://f-saposen.jp/
運営委託 福島県企画部 文化スポーツ局 文化振興課
運営受託 認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

「NPOと企業等のマッチング事業」では、 皆さまのご参加をお待ちしています！

平成30年度「NPOと企業等のマッチング事業」

当事業は現在、県内約930のNPO法人と県内約3,800の企業に「NPOと企業の協働に関するアンケート」を送付し、NPOと企業双方に協働に関してお互いの程度興味があるかの現状調査を実施しています。この調査を基に協働に興味のあるNPOと企業それぞれにアプローチし、当事業への参加を募る予定です。さらに昨年度事業の成果としてウェブサイト「平成29年度成果報告書」を掲載しました。また昨年度事業後の成果として、5月に「(株)クラシマ ウェブサイト

へのバリアフリー情報掲載の提案」、8月に「荒川産業(株) 裂き織り体験教室開催」等々、少しずつではありますが協働の芽が育ちつつあります。今年度も11月の「NPOと企業とのマッチング会」で新たな出会いが生まれることを期待しています。
(<https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>)

【お問い合わせ】
TEL: 024-521-7333 / FAX: 024-523-2741
E-mail: f-matching@f-saposen.jp



インターン活動
「がんばるぞ、
オーっ！」

7月8日(日)、ビッグパレットふくしまにてチャレンジインターンシップ開講式を開催しました。4回目の開催となる今年度は、県内24のNPO法人で50名のインターン生が活動します。

開講式では、根本県文化振興課長からの主催者挨拶、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社からの共催者挨拶に続き、受入れNPO法人とインターン生のみなさんから一言ずつ活動へ向けての抱負を話していただきました。

NPO × 若者 = 復興!!

平成30年度NPO強化による復興創生事業
「チャレンジインターンシップ事業」

開講式開催



活動へ向けての抱負を発表する受入れ団体とインターン生のみなさん

「今年も若いみなさんがNPOに新しい風を運んでくれることを期待しています」など、受入れNPO法人からはインターン生のみなさんと活動することを心待ちにしている様子が伝わってきました。インターン生からは、「東日本大震災の復興に意識を持ち、被災者の皆様へ少しでも支援ができるよう誠心誠意努力します」「実際に見て、聞いて、考えるという貴重な体験をして、将来へ活かしたいです」という前向きな目標が話されました。この夏のインターン活動が、受入れNPO法人とインターン生にとって有意義な時間となるようサポセンも応援します。10月28日(日)に行う活動報告会・閉講式ではひとり大きく成長したインターン生に会えることを楽しみにしています。

根本県文化振興課長から語られた本事業への想いに耳をかたむける出席者

チャレンジインターンシップウェブサイトへ活動の様子を掲載中です。
<https://f-intern.f-saposen.jp/>





特定非営利活動法人 あだたら高原なると

二本松市



渦のような巻き込み力で地域に変革を起こす!!

岳温泉街の景色



↑花見の時期に好評だった足湯バー

特定非営利活動法人 あだたら高原なるとは平成30年4月に設立されたばかりの団体です。

「なるとのような渦をつくり、安達太良地域に新しい動きをもたらしたいと名づけました」と理事の齋藤さんは話されます。

現在、福島県は観光客の減少の問題を抱えています。岳温泉も例外ではありません。そこで、観光協会としてできないことをNPO法人として行いたいという熱い思いを持って団体を立ち上げました。

岳温泉観光協会の方々为主要なメンバーとなっていますが、地域の枠を越え安達太良全域を巻き込み、新しい息吹を吹き込む活動をNPO法人として行います。

二本松市にはドリフトの聖地と呼ばれるエビスサーキットがあります。そこは日本人だけではなく多くの外国人が来県する場所となっており、地域の大きな資源です。遠方からのお客様は宿泊だけではなく、更なる経済波及効果をもたらします。

「季節ごとの高原や農村の美しさを知ってもらい、地域への関心を深めてもらうことで、その流れを地域活性化のきっかけとしたい。」と代表の大楽さんは話されます。あわせて「今後、民泊にもチャレンジしたい」と大変意欲的です。

また、安達太良の森に生育する植物や小動物(リス)などの観察を通じて、安達太良の豊かさを感じるプログラムの企画など、精力的に活動を進めています。

安達太良地域には他にも多くの資源があり、その魅力にひかれ団体の活動は県内だけではなく県外の方からも共感を得ています。「自身が持つノウハウを活かしたい」「活動の幅を広げるため資格を取りたい」など個人の情熱を安達太良地域の活性化へとつなげていきます。

ドローンを使って安達太良地域のPRに力を入れます



特定非営利活動法人 未来ノチカラ

会津若松市



遊びや体験を通して「未来ノジブン」を想像する!!

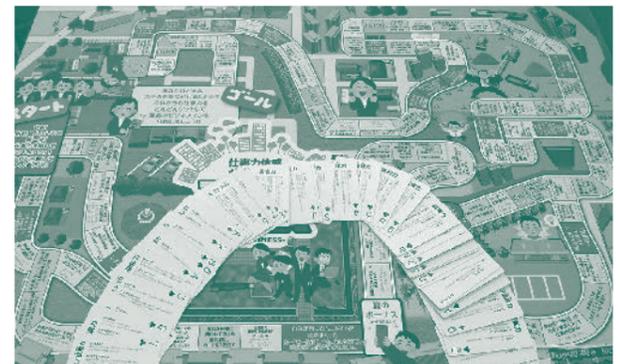
会津地域の農業活性化、人材育成を目的として平成26年に特定非営利活動法人 未来ノチカラは設立されました。「将来どんな自分になるのか」、「どんな職業につきたいのか」など未来を想像することができない子が増えているという現状のなか、子どもたちが未来を描くことを支援する活動や食育に力を入れています。メンバーの多くは農業を営んでおり、地域を担う次世代の子どもたちに農業を通して多くの学びや気づきを与えます。その中でも野菜を育てる経験は健全な心と体を育みます。農家の方から苗をいただき、「自分が育てる」ことで野菜の成長を感じ、特別の想いで作った野菜は、なにものにもかえることのできないものです。それらの野菜を収穫することは子どもたちの喜びとなっていきます。



↑紙芝居を通して命の大切さを伝えます



おいしい雪下野菜、収穫中!!



↑職業観カードゲーム

会津地域は多くの雪が降りますが、それは野菜においしさをもたらします。さまざまな味が存在することを越冬した畑で収穫した野菜からも感じる事ができるのです。野菜が嫌いでも食べられないものがあつた子どもも、そのおいしさのマジックにかかり食べられるようになっていきます。

他にも地域が持つ特長や資源をいかすことで、地域文化をひろめていく活動にも力を入れており、会津地域で有名な食用ほおずきを利用して紙芝居を作成したりもしています。

「生きるということに関して、必ず下から順に色づいていくほおずきの成長を通し、後に生まれたものが先のものを越すことのない命の大切さを教えてきました」と理事長の佐藤さんは話されます。

子どもたちが大好きなカードゲームも専門家の意見を取りいれて未来を描く、次世代を育てるツールにしています。これからも遊びや体験を通して子どもの健全な育成に取り組む活動に力を入れていきます。



すべてのNPO法人のみなさま、貸借対照表の公告へ向けての準備はできていますか？

NPO法人は、毎年度“定款で定めた方法で”貸借対照表の公告を行うことが義務付けられました。

まずは、みなさまの定款の「(公告の方法)」をご確認ください。

現在の定款で

例) 第〇条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

と定めており、もしも定款変更を行わないでいると…

毎年 貸借対照表を

(1)「掲示場に掲示」

(2)「官報に掲載」

の2つの方法で公告しなければならなくなります！

(1)は簡単そうですが、「誰もが」「いつでも」「見やすいところに」「1年間掲示」という条件があります。

(2)に関しては、官報への掲載料が最低7万円程度とされています。

以上のように、これらの作業を毎年行うとなると大きな負担となりそうです。そこで、多くのNPO法人では、公告の方法を決めて、定款の変更を行う必要があります。

ここでは、現行定款の公告方法とは別に貸借対照表の公告方法を定める場合の記載例を紹介します。

例) 第〇条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、△△に掲載して行う。

△△部分には、官報・日刊新聞紙の他、電子公告(法人のホームページや内閣府NPO法人ポータルサイト)、法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所への掲示があります。

▶詳しくは、福島県のHP (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11055a/np029.html>)

▶もしくは、内閣府NPOホームページ (<https://www.npo-homepage.go.jp/kaisei#housei-2-4>) をご確認ください。

平成30年10月1日以後に作成する貸借対照表が対象となりますが、平成30年9月30日以前に作成した貸借対照表で直近のものについても公告する必要があります。10月1日までに公告するか、10月1日以後遅滞なく公告する必要があります。

貸借対照表の公告に係る定款変更をまだ行っていないNPO法人は、総会で定款変更を議決し、今年の9月30日までに所轄庁へ定款変更届を提出してください。

助成金情報

チャレンジしてみよう!

NPO関連の助成金情報については当センターのホームページをご覧ください。
【URL】<https://f-saposen.jp/category/subsidy/>



◇保健・医療・福祉、まちづくり、災害救援、地域安全、子どもの健全育成など

平成30年度東日本復興支援金配分団体の募集 【支援元／社会福祉法人 中日新聞社会事業団】

- 助成対象／東日本大震災からの復興に関する事業、ならびに福島、宮城、岩手各県の保健、福祉の向上に関する事業を行う団体
- 申込期間／平成30年6月1日(金)～8月31日(金) ●上限金額／1件あたり150万円
- 参考URL／<http://chunichi-shakajigyo.jp/reconstruction.html>

◇学術・文化・芸術・スポーツ

助成事業(地域文化の振興をめざして) 【支援元／公益財団法人全国税理士共栄会文化財団】

- 助成対象／地域文化の活動(芸術活動・伝統芸能・伝統工芸技術・食文化)
- 申込期間／平成30年6月5日(火)～10月31日(水) ●上限金額／1件あたり50万円
- 推薦制公募方式とします。但し、税理士会及び税理士協同組合並びに税理士、都道府県教育委員会・文化関係部局、学識経験者、報道機関等いずれかの推薦及び本財団所定の推薦書を必要とします。
- 参考URL／<http://www.zenzeikyo.com/assist/index.html>

ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営委託：福島県企画調整部 文化スポーツ局 文化振興課

運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしま NPO ネットワークセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL.024-521-7333 FAX.024-523-2741

E-mail saposen@f-npo.jp URL <https://f-saposen.jp/>

◆県内の認証 NPO 法人団体 / 923 団体

◆特例認定 NPO 法人団体 / 1 団体

◆認定 NPO 法人団体 / 20 団体

平成 30 年 6 月 30 日現在

編集後記

協働マッチング事業で今年度も成果を出します!【後藤】

皆さんに役立つサポートを丁寧に行っていきます!【野地】

学生さんとともに熱い夏を過ごします!【櫻井】

麦酒!!ではなく…温かいものを心掛けます!【青柳】

今夏は超猛暑になるそうです。水分補給はこまめに!【渡部】

夏本番に向けてダイエット。目指せ5キロ減!【穴戸】

スイカが美味しい季節になりました!【山内】